

東海市農政協議会会議録

1 会議名 令和6年度東海市農政協議会（第2回）

2 議 題

- (1) 農業振興地域整備計画について
- (2) 令和6年度農用地区域の変更内容について
- (3) 地域計画について

3 開催日時 令和7年（2025年）2月13日（木）

午後2時～3時

4 開催場所 市役所4階 403会議室

5 出席者

(1) 委 員

近藤洋子、久野光洋、山口由彦、高津和久、早川節代、川島祐治、木下俊春、
三輪喜美子、板野浩美 計9人

(2) 事務局

環境経済部長 小笠原尚一、環境経済部農務課長 石松勝、
同主幹 角田大輔、同主事 服部堅太

6 公開・非公開の別 公開

7 傍聴者数 0人

8 発言内容

【石松農務課長】

皆さんこんにちは。忙しい中第2回の農政協議会に出席いただきまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから東海市農政協議会を開催したいと思います。本日、谷口委員からご欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告申し上げます。谷口委員が欠席でございますが、東海市農政協議会設置要綱第6条第2項に規定する開会の定数に達しておりますので、ご報告を申し上げます。なお、この会議につきましては、審議会等の会議公開制度に基づきまして、公開で会議の方を進めさせていただきますのでよろしくお願いします。それでは開会にあたりまして、会長からごあいさつをいただきたいと思います。

【久野会長】

皆さんこんにちは。大変忙しい中、第2回東海市農政協議会にご出席いただきまして大変ありがとうございます。

さて、本協議会は農業に対して深い見識をお持ちの皆様の忌憚のないご意見を積極的にいただき、より良い農業を目指していくきっかけとなれればと考えております。

委員の皆様方にはご協力をいただきまして、本日の協議会を円滑に進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【石松農務課長】

ありがとうございました。それでは、以降の議事の進行については会長の方をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【久野会長】

それでは、本日の議題に入りたいと思います。

まず、最初に協議事項(1)「農業振興地域整備計画について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

「農業振興地域整備計画について」概要を説明

【久野会長】

農務課の判断としてアンケート回収率が約半分というのは、良い方だと考えているのでしょうか。

【事務局】

50%あればかなり良い方だという見解になっています。

【久野会長】

疑いをかけて申し訳ないですが、未回答の50%は所有農地面積（耕作面積）の少ない人ではないかと思います。遊休農地の問題は、この未回答の層が原因になっている気がします。具体的な遊休農地に対する対策というのはあるのでしょうか。

【事務局】

現状、遊休農地の活用というものがうまくいっていない現状はありますが、耕作されない農地が増えるということは、先ほどの後継者不足ということとも連動していると考えていまして、その農地を使ってくれる農業者を、どのように市内外から呼び込めるかというのが、本市の農業振興の方針の一つであると考えております。あと、現状の遊休農地対策として、取り組んでいることがあるかというご質問ですが、具体的

に解消ができるような対策を明確には打ち出しておりませんが、農業委員会の方で管理している「農地バンク」の情報を提供しやすいように整備していくことが必要になってくるのかと考えています。

【久野会長】

それでは、協議事項(1)の「農業振興地域整備計画について」はこれで終了いたします。続きまして、協議事項(2)「令和6年度農用地区域の変更内容について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

「令和6年度農用地区域の変更内容について」概要を説明

【久野会長】

農業振興地域の農地が約1,100ヘクタールあって、そのうち先ほど地図を見せていただいた農用地区域は、約400ヘクタールであるということでしょうか。

【事務局】

そのとおりです。

【久野会長】

毎年1ヘクタールほどの農用地が減っているのでしょうか。

【事務局】

おおむね1～2ヘクタールぐらいの農用地が減っていると思います。除外における6要件を満たすものに関しては受けざるを得ないのが現状であり、相手の申出内容をしっかり確認した上で除外をしています。

【久野会長】

他にご質問もないようですので、協議事項(2)「令和6年度農用地区域の変更内容について」はこれで終了します。続きまして、協議事項(3)「地域計画について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

「地域計画について」概要を説明

【久野会長】

(農政協議会)第1回の時にお話がありましたが、地域計画の策定は令和7年3月末までとなっていますが、目標どおり完成しそうですね。

【事務局】

はい。完成予定です。

【久野会長】

あと2年かけて、目標地図の精度を上げていくということで、立派な地図になると思います。

【事務局】

地図上の緑色で塗らせていただいているところは貸し出し希望がある場所となるため、窓口で閲覧できるようにする予定です。ぜひ、農地を探されている方も見ていただき、幅広くこの地図を活用していきたいと考えています。

【久野会長】

地図上で色がいないところは、アンケートへの回答がなかった農地もあるということでしょうか。

【事務局】

はい。そのとおりです。

【久野会長】

都市計画マスタープラン上の新市街地候補ゾーンが地域計画のエリアの中に入っている。市街化区域に編入される可能性があるのに、地域計画のエリアとして、農業としての将来の活用を検討しており、少し矛盾を感じます。

【事務局】

会長からご指摘されるまでそこまでの意識はございませんでしたが、農業振興の担当課として、農地をどう使いたいかということのアンケート結果を全て落とし込んでいる状態であります。都市計画マスタープランとの整合性については、考えなければいけないと思うところであります。

【石松農務課長】

農務課として農業を振興していく立場である中、農家さんの意向をできるだけ地域計画に反映していきたいと考えていますが、市として都市計画マスタープランの新市街地候補ゾーンにて農業を振興していくという若干矛盾したところがございます。今日のご意見を踏まえて一度検討をさせていただきたいと思います。

【久野会長】

他に、何かご意見があればお願いします。

【高津委員】

都市計画マスタープランというのはいつ策定されたのでしょうか。

【事務局】

令和6年の3月頃だったかと思います。

【高津委員】

都市計画マスタープランの中で、農用地域も新市街地候補ゾーンに入っているのでしょうか。

【事務局】

入っております。

【高津委員】

都市計画としては東海市の農地のあり方をどう考えているのでしょうか。東海市の農地を見ると、特に名和の辺りは軒並み物流会社ができ、農地が無くなっていると思いますが、今後どのようにしていくのでしょうか。

【事務局】

都市計画マスタープランと農業振興地域整備計画や地域計画は、表裏一体の計画であります。開発されれば農地が減りますが、市として開発なしで時を経過させるわけにもいかないところもあったりするため、計画の見直しの度に農業部門と都市計画部門でしっかり協議をしていく必要があると思っております。

【久野会長】

他にご質問もないようですので、協議事項(3)「地域計画について」はこれで終了します。以上をもちまして、第2回東海市農政協議会を終了いたします。

【石松農務課長】

議事進行ありがとうございました。最後に環境経済部長の小笠原の方から一言ごあいさつを申し上げます。

【小笠原環境経済部長】

環境経済部長あいさつ

【石松農務課長】

委員に対して事務連絡

協議事項を全て終了し、閉会。

令和7年（2025年）2月13日

会 長 久 野 光 洋